

(参考様式2) 社会資本総合整備計画 (社会資本整備総合交付金)

平成30年 2月20日

計画の名称	3 拠点施設へのアクセス強化を図り、物流の効率化により地域の産業振興を支援する道路整備				変更回数	2	重点配分対象の該当	○
計画の期間	平成28年度～平成32年度(5年間)				交付対象	石川県、小松市		
計画の目標								

高速IC・鉄道駅・港湾そして工業団地などの物流拠点間を結ぶ道路整備を行い、当該地域における混雑の緩和と利便性の向上につなげ、地域の産業振興や交流人口拡大等の形成に資する成長基盤の強化を図ることにより、持続可能で活力ある地域作りを支援する。

計画の成果目標(定量的指標)

インターチェンジ、鉄道駅、港湾から工業団地等へのアクセスを向上させる道路整備を行い、産業の競争力や成長力を高める。

定量的指標の定義及び算定式

定量的指標の現況値及び目標値	定量的指標の現況値及び目標値		備考
	当初現況値 (H28当初)	最終目標値 (H32末)	
拠点施設までの移動時間の短縮(分) (拠点施設までの移動時間の短縮) = (整備延長/現況速度) - (整備延長/整備後の速度)	0分	10分	・(石川中央都市圏ビジョン)に基づき実施される要素事業: 3A-1, 3A-9, 3A-10, 3A-11

全体事業費	合計 (A+B+C+D)	12,450百万円	A	12,450百万円	B	百万円	C	百万円	D	百万円	効果促進事業費の割合 C/(A+B+C+D)	0.0%
-------	-----------------	-----------	---	-----------	---	-----	---	-----	---	-----	---------------------------	------

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
3-A1	道路	一般	石川県	直接	石川県	(国) 304号 不動寺バイパス	バイパス L=0.7km	金沢市						140			
3-A3	道路	一般	石川県	直接	石川県	(一) 串加賀線 大聖寺道路	バイパス L=1.2km	加賀市						3,500			
3-A4	道路	一般	石川県	直接	石川県	(主) 金沢美川小松線 福島町～橋新町	バイパス L=2.6km	能美市、川北町						4,300			P1へ移行
3-A5	道路	一般	石川県	直接	石川県	(主) 金沢美川小松線 徳光～小川	現道拡幅 L=2.26km	白山市						430			
3-A7	道路	一般	石川県	直接	石川県	(一) 百海七尾線 藤野～矢田	バイパス L=1.1km	七尾市						2,000			P1へ移行
3-A8	道路	一般	石川県	直接	石川県	(一) 清水小坂線 小二又～牧	現道拡幅 L=0.7km	金沢市						405			
3-A9	道路	一般	小松市	直接	小松市	(市) 正蓮寺産業団地線	バイパス L=0.83km	小松市						516			P2から移行
3-A10	街路	一般	石川県	直接	石川県	(都) 金沢駅港線	現道拡幅 L=0.3km	金沢市						210			P1から移行
3-A11	街路	一般	石川県	間接	土地区画整理組合	白山市横江町地区	区画整理 A=48.4ha	白山市						949			
合計												12,450					

B 関連社会資本整備事業(該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
									H28	H29	H30	H31	H32				
合計												0					

C 効果促進事業(該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

D 社会資本整備円滑化地籍整備事業(該当なし)

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
									H28	H29	H30	H31	H32		
合計												0			

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H28	H29	H30	H31	H32
配分額 (a)	724.075	509.025			
計画別流用 増△減額 (b)	0.000	0.000			
交付額 (c=a+b)	724.075	509.025			
前年度からの繰越額 (d)	636.311	198.344			
支払済額 (e)	1,162.042	450.253			
翌年度繰越額 (f)	198.344	257.116			
うち未契約繰越額 (g)	11.000	25.491			
不用額 (h = c+d-e-f)	0.000	0.000			
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	0.8%	3.6%			
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由					

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

社会資本整備総合交付金チェックシート

計画の名称：拠点施設へのアクセス強化を図り、物流の効率化により地域の産業振興を支援する道路整備

事業主体名：石川県、小松市

チェック欄

I. 目標の妥当性	
①基本方針・上位計画等との適合等	
1)基本方針と適合している。	○
2)上位計画等と整合性が確保されている。	○
<small>(該当するものに○) 1 国土形成計画全国計画 2 国土形成計画広域地方計画、北海道総合開発計画又は沖縄振興計画 ③ 社会資本整備重点計画 4 環境基本計画 5 その他(以下の空欄に計画名を記載)</small>	
②地域等の課題への対応	
1)地域の課題及び利用状況を踏まえて事業内容が検討されている。	○
II. 計画の効果・効率性	
③目標と事業内容の整合性等	
1)目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
2)指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
3)指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
④事業の効果	
1)十分な事業効果が確認されている。	○
2)他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性	
⑤地元の機運	
1)事業内容について地元の意見が繁栄されている。	○
⑥円滑な事業執行の環境	
1)計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
2)事業実施のための環境整備が図られている。	○